



東京文化発信プロジェクト

東京から生まれる新しい文化の波

平成 22 年 8 月 17 日
東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

【プレスリリース】

東京文化発信プロジェクト 8 月～9 月 開催プログラムのご案内

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

年間を通じさまざまなイベントを通して「東京ならではの芸術文化の創造と発信」を行っていますが、8月～9月に開催されているなかから、主要イベントを4点、ご案内させていただきます。ご取材等、ご検討いただければ幸いです。

フェスティバル事業

■ 『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー 2010』

スーパー・コーラス・トーキョーお披露目コンサート 9/3(金) 於:めぐろパーシモンホール

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー 2010』は、東京文化発信プロジェクトの今年度の新規事業で、“声”をテーマとした音楽フェスティバルです。

フェスティバルの核となる、声の一流プロ合唱団「スーパー・コーラス・トーキョー」を結成し、お披露目コンサートを、9月3日(金)めぐろパーシモンホールで開催します。

「スーパー・コーラス・トーキョー」とは、フィレンツェ歌劇場、ミラノ・スカラ座、トリノ歌劇場などの合唱指揮者を歴任し、現代のカリスマ合唱指揮者ロベルト・ガッビアーニ氏を指導者に迎え、3日間に及ぶオーディションの中からガッビアーニ氏自身が選んだ精鋭と、東京のプロ合唱団の選り抜きのメンバーが集結した合唱団。お披露目コンサートでは、ヴェルディ・ガラとして、「椿姫」から“ジプシー女の合唱”や“闘牛士の合唱”、“ナブッコ”から“行け我が思いよ、金色の翼に乗って”などをはじめ、誰もが馴染みのあるヴェルディの名作合唱曲が披露されます。

事前申込みにより1000人を無料でご招待します。また、10月にはデビューコンサートを都内3カ所で開催、日本の合唱能力の高さを、東京から世界に向けて発信していきます。



【開催概要】

開催日時： 9月3日(金) 19:00 開演
開催場所： めぐろパーシモンホール 大ホール
料 金： 無料・事前申し込み

■『東京発・伝統WA感動』

伝統芸能公演 能と邦楽「隅田(すだ)の四季」 8/31(火) 於:東京芸術劇場

『東京発・伝統WA感動』は、伝統芸能・文化に誰でも気軽に参加できる機会を設け、これらの魅力を国内外に向けてアピールするとともに、普及と活性化を図っていく事業です。

伝統芸能公演のメインイベントとして、8月31日(火)に、今も昔も人々に愛されている隅田川をテーマとした「隅田(すだ)の四季」を、東京芸術劇場で開催します。江戸時代から河川交通の大動脈として、漁場として、庶民の生活を支えてきた隅田川。舟遊び、花見、花火見物などを楽しむ憩いの場でもあり、能、歌舞伎、日本舞踊、邦楽、落語などの芸能をはじめ、浮世絵にも多く登場します。そんな隅田川にゆかりのある古典の名作と新作を堪能いただき、“伝統と現代”をつなぎます。

能や邦楽の楽しさに触れられる機会であると同時に、造詣の深い方にも堪能できるよう、出演者は梅若玄祥、宝生閑はじめ、第一線で活躍する名手が競演します。

日本語の字幕表示、英語同時通訳も用意されています。



【開催概要】

開催日時： 8月31日(火) 18:00 開演

開催場所： 東京芸術劇場中ホール

出演： 岡安晃三朗、今藤長十郎、藤舎呂船、本條秀太郎、清元志佐雄太夫、清元美治郎、萩岡松韻、今藤郁子、梅若玄祥、宝生閑 ほか

内容： 第一部 邦楽：長唄「風流船揃」、端唄集「大川情歌」、邦楽組曲「川-kAwA」(新作)
第二部 能：「隅田川」

料金： 全席指定/一般4,000円、こども・学生(大学生以下)2,000円

キッズ事業

■『東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム』

英国ロイヤル・オペラ「マノン」 9/8(水)

『青少年のための舞台芸術体験プログラム』では、東京文化会館で開催される国内外のオペラ、バレエ、オーケストラ公演のゲネプロ(最終的な通しリハーサル)を、主催者の協力を得て、舞台芸術に関心のある青少年に公開しています。

9月8日(水)には、世界5大オペラハウスのひとつである英国ロイヤル・オペラによる「マノン」の公開ゲネプロを行います。フランスのロマンティック・オペラを代表する作曲家マネスの最大の成功作といわれ、女性の魅力がふんだんに描かれている作品です。

参加者には舞台芸術を楽しむためのガイドブックや、作品の解説などを掲載したプログラムを配布するほか、プレトークとして公演前や休憩中に公演の見どころを解説する予定で、初めて公演を鑑賞する人でも舞台芸術の楽しさ、醍醐味を体感してもらうためのサポートを充実させています。

当プログラムは2009年度から実施しており、初年度はミラノ・スカラ座や東京バレエ団などによる12公演で実施、1000人超の青少年が来場しました。



【開催概要】

開催日時： 9月8日(水) 17:00 開演(予定)

開催場所： 東京文化会館 大ホール

料金： 無料(ただし入場券の受け取りに際して350円のシステム利用料がかかります)
事前申込み

東京アートポイント計画

■ 『TERATOTERA (テラトテラ)』

途中下車の旅 9/8(水)～9/11(土) 於:吉祥寺

『TERATOTERA (テラトテラ)』は、JR 中央線高円寺駅と吉祥寺駅区間の、二つの「寺」を結ぶ、東京・杉並及び武蔵野エリアを舞台とした地域密着型アートプロジェクトです。このエリアに点在する様々なアートスポットと協働しながら、それぞれの活動を広く紹介していく取り組みです。

9月8日(水)から11日(土)の4日間、吉祥寺の芸術複合施設「Art Center Ongoing(アートセンター・オン・ゴーイング)」での展覧会と併催して、「TERATOTERA 途中下車の旅」と題し、地域におけるアート活動を考える連続シンポジウムを開催します。

『TERATOTERA』チーフ・ディレクターの小川 希が司会を務め、実際に地域でのアートプロジェクトに関わってきた方々として、吉祥寺の老舗銭湯を舞台に人間味ある情報や交流の実現を目指した「風呂ロック」代表の佐藤 広輝氏、地域の文化活動拠点となっているパブリックシアター「座・高円寺」支配人の桑谷 哲男氏、世界一音の良い映画祭「爆音映画祭」でもおなじみの「吉祥寺バウスシアター」の武川 寛幸氏などをパネリストに迎えます。また、アートプロジェクトのボランティアスタッフ、取手や墨東エリアなど他エリアのアートプロジェクトスタッフのお話も伺い、様々な視点から東京でのアートプロジェクトの可能性を探っていきます。



【開催概要】

開催日時： 9月8日(水)～11日(土)

開催場所： Art Center Ongoing (JR 吉祥寺駅北口より徒歩10分)

内 容： 9月8日(水)～11日(土) 展覧会 「Ongoing 祭り」

9月10日(金) シンポジウム「ボランティアの視点から考える」19:00～21:00

9月11日(土) シンポジウム「中央線の視点から考える」16:00～18:00

シンポジウム「企画者の視点から考える」19:00～21:00

料 金： 展覧会は無料、シンポジウムはワンドリンク付き入場料1000円

<報道関係者からの問い合わせ先>

東京文化発信プロジェクト広報事務局 富樫/大原

電話：03-3818-2465 FAX:03-5689-0455 E-mail:tokyobunka@prininfo.co.jp